平成24年度 情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

問総務課☎32-2054

情報公開制度

請求件数	74件	
対象行政文書	453件 （全部開示 23件・一部開示 358件・不開示 72件）	
行政文書の内容	入札・契約関係	344件
	工事関係	29件
	議会関係	21件
	行政執行適正化関係	20件
	情報公開・個人情報保護関係	14件
	水道関係	6件
	市税関係	5件
	市道関係	5件
	建築関係	5件
	市長業務関係	2件
	職員の人事・給与関係	2件
異議申立件数とその処理状況	前期継続審査	6件
	本年度異議申立	27件
	取下	3件
	決定内容 認容	0件
	決定内容 一部認容	3件
	決定内容 棄却	1件
	決定内容 却下	0件
	次期継続審査	26件

個人情報保護制度

	実施機関	届出件数
個人情報取扱事務の届出件数	市長	425件
	教育委員会	64件
	選挙管理委員会	17件
	公平委員会	1件
	監査委員	1件
	農業委員会	13件
	固定資産評価審査委員会	1件
	水道事業管理者	5件
	議会	2件
	合計	529件

自己情報の開示請求・訂正などの請求と請求に対する決定の状況

1．自己情報の開示の請求　50件

実施機関	請求件数	全部開示	一部開示	不開示	却下
市長	39件	11件	5件	23件	0件
市長以外	11件	2件	2件	7件	0件
合計	50件	13件	7件	30件	0件

2．自己情報の訂正などの請求　0件

異議申立件数とその処理状況

実施機関	前期継続	今期申立	取下	決定内容 認容	決定内容 一部認容	決定内容 棄却	決定内容 却下	次期継続
市長	2件	13件	1件	0件	1件	0件	0件	13件
市長以外	0件	5件	0件	0件	0件	0件	0件	5件
合計	2件	18件	1件	0件	1件	0件	0件	18件

市有地の売り払い

問財政課（市役所6階）☎32-2021

No.	所有地	種別	地積	最低売払価格（予定）
1	加茂町塔中103番3	土地（宅地）	306.67㎡	264万円
2	加茂町塔中103番10	土地（宅地）	15.79㎡	

入札方法　一般競争入札
入札の受付期間　5月17日㈮～6月12日㈬
現地説明会　5月17日㈮ 午前10時～11時
入札日　6月18日㈫ 午前10時～
※詳しくは、お問い合わせください

軽自動車税の納付

問税制課（市役所2階2番窓口）☎32-2017
または各支所市民生活課

5月は軽自動車税の納付時期です。忘れないよう、納付期限までに納めましょう。

納付期限　5月31日㈮

■納付方法

納税通知書で納める場合　5月中旬に納税通知書を送付します。市指定金融機関で納めてください

口座引き落としで納める場合　納付期限日に指定口座から引き落とします。事前に口座残高をご確認ください

■口座引き落としで納める人の納税証明書の発行

6月中旬に納税証明書を送付します。それ以前に納税証明書が必要な人は申請してください

申請に必要なもの　軽自動車税の引き落とし内容が記帳された通帳

■身体・精神に障害のある人の軽自動車税の減免

障害の等級などにより軽自動車税が減免になる場合があります。詳しくは、お問い合わせください

申請期限　5月24日㈮

市民と市長のふれあいトークを開催

問秘書広報室☎32-2029

第4回
と　き　4月5日㈮
テーマ　文化活動を通して人づくり・地域づくり

参加者
花谷周治さん（大吉）
山岡弘幸さん（山北）
土井孝明さん（杉宮）
鈴木英子さん（奈義町）
菅原　恵さん（日本原）

津山『風と光と心の劇場』実行委員会（以下「実行委員会」）の5人が市長と意見交換を行いました。

ミュージカルを通して人づくり・地域づくり

参加者からは、平成11年の実行委員会発足以来、ミュージカルを通して人づくり、地域づくりに取り組んでいること、出演者と裏方のスタッフが一体となってミュージカルを作り上げ、これまでに「黒媛物語」や「オズの魔法使い」、「風の野っ原」などの公演を行っていることについて説明がありました。

そして、実行委員会では、子どもの居場所づくりと人づくりに特に力を入れていて、子ども同士、子どもと大人とが、ミュージカルを通して一緒に関わっていく中で、あいさつや後片付けが出来て、感謝の気持ちを忘れない子どもたちが育っていることなどが紹介されました。

市長は、元気な地域づくりや子どもたちの健全な育成に取り組む実行委員会に対して、感謝の意を表しました。

表情豊かで自ら考え行動できる子どもを育てる

参加者からは、近年、表情豊かな子どもや、自分で考え行動する子どもが少なくなっているように感じるという指摘がありました。それらを解消するためには、体験型の教育が必要で、スポーツや文化活動が、大きな役割を果たしているとし、その活動を活発にしていくためには、市民と行政の連携した取り組みが必要との提言がなされました。

市長は、文化に対する参加者の熱意に敬意を表するとともに、今後、市として、どういう形で協力ができるのかを検討していきたいと話しました。

第5回
と　き　4月10日㈬
テーマ　子育てとメディアコントロール

参加者
長江真理子さん（山北）
森安恵津子さん（小原）
松尾冬美さん（東一宮）
内田真梨子さん（沼）
徳田徳子さん（山北）

NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場（以下「子ども広場」）の5人が市長と意見交換を行いました。

仲間と一緒に子どもたちを健やかに育みたい

参加者からは「子ども広場」が文化体験や自然体験など、子どもたちを健やかに育む活動を行っていることや子どもを持つ親の仲間づくりや相談の場になっていることなどの紹介がありました。

また、5月20日には津山文化センターで「オズの魔法使い」、7月には、鶴山公園などで美作国建国1300年記念事業として「忍者あそび」などの催しを行うので、たくさんの親子に参加してもらいたいと話しました。

乳幼児期からのメディアコントロールが必要

参加者からは、テレビやテレビゲームなど、子どもが映像メディアに接する時間が増えると、コミュニケーション能力の発達の遅れなどの弊害が生じる恐れがあるため、外へ出て遊ぶ楽しさを知る機会を増やしていく必要があるとの指摘がありました。

そして、親にメディアコントロールについて理解してもらい、子どもには早い時期から規則正しい生活習慣を身に付けさせることが大切と話しました。

市からは、母子手帳の交付時や乳幼児健診時など、機会があるごとに保健師が啓発を行っていること、小学校でも、テレビを見る時間や寝る時刻など、児童が目標を立てて実行する「チャレンジハッピーデー」の取り組みを行っていることなどを説明しました。

市長は、家庭、学校、地域、行政が協力をしながら、地域の宝である子どもたちを健やかに育てていく必要があると話しました。